

第3回 にぎわい拠点整備WGの開催結果	
日 時	平成24年8月20日(月) 14:00~15:30
場 所	亀岡市役所2階202会議室
出席者	<p>京都市立芸術大学 教授 藤本 英子 グループ長  亀岡市観光協会 事務局長 栗山 健 副グループ長  亀岡商工会議所 観光委員長 奥村 邦夫  篠町まちづくり推進会 会長 藤田 修  亀岡地区西部自治会 会長 櫻井 邦男  亀岡防犯推進委員連絡協議会 上田 一夫  公益財団法人亀岡市体育協会 専務理事 山田 百十 (代理)  桂川流域ネットワーク 代表世話人 下村 泰史  公募委員 細川 武</p> <p>(順不同、敬称略)</p> <p>亀岡市土木管理課 藤本係長  " 桂川・道路整備課 並河課長、関口係長、竹村主査</p> <p>(事務局)  京都府南丹土木事務所河川砂防室 井尻副室長、中主査、神原副主査</p>
内 容 (次第)	<p>○前回の振り返り  ○保津川さくら広場の整備について  ○山本浜再生に関する検討状況について  ○今後の予定について</p>
結 果	<p>○本WGのキーワードは「シンボル創出」「観光拠点の充実」「観光ネットワークの形成」とする。</p> <p>○保津川さくら広場については、事務局案を基本に植栽の具体的な検討を進めるものとする。</p> <p>○山本浜の再生については、第1案を基本に検討を進めるが、水辺については本川(保津川)ではなく支川(鶴の川・西川)側へ近づけるように改善する。</p> <p>(主な意見)</p> <p>【全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WGの間隔を短くすべき。前回の内容を憶えている内に次の議論をするのが良い。</li> <li>・WGで議論した内容を別のWGに伝えるようにしてもらいたい。各WGの話がつながっていくように。</li> <li>・委員のみなさんからのアイデアを持ってきて議論する場としたい。</li> <li>・水辺の安全利用のためのソフト作りが必要ではないか。</li> <li>・売店等はできるのか。そのようなことも含め、「自分ではしないが、こんなことが楽しみ・にぎわいになるのでは」という議論をすべき。</li> </ul> <p>【保津川さくら広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルツリーとして、サイカチを植えられないかさらに検討をお願いしたい。</li> <li>・サクラ・モミジだけでなく、常緑樹・低木も必要ではないか。</li> </ul> <p>【山本浜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装パターン等ハード的なものよりも、「にぎわい」を作り出す仕組みについて議論する必要がある。</li> </ul>

・今どきの子どもは川で遊ばないので、川での遊び方を知らない。いきなり保津川本川へ入れるようにするのは危険ではないか。



